

事業名 (箇所名)	国立の民族共生公園(仮称)		担当課	都市局公園緑地・景観課	事業 主体	北海道開発局
			担当課長名	榑野 良明		
実施箇所	北海道白老郡白老町					
主な事業の諸元	国立の民族共生公園(仮称) 計画面積:約10ha					
事業期間	事業採択	平成28年度	完了	平成32年度		
総事業費(億円)	約30億円					
目的・必要性	<p>&lt;解決すべき課題・背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年7月に「アイヌ政策関係省庁連絡会議」が設置され、平成24年7月に「民族共生の象徴となる空間」基本構想(以下、「象徴空間基本構想」という)を策定。</li> <li>・象徴空間基本構想において、象徴空間は「アイヌ文化復興等に関するナショナルセンターとして、アイヌの歴史、文化等に関する国民各層の幅広い理解の促進を図るとともに、将来に向けてアイヌ文化の継承をより確実なものとし、新たなアイヌ文化の創造及び発展に繋げていくための中心的な拠点、過去・現在・未来を通じた複合的意義を有する空間として整備されるものと位置づけられている。</li> <li>・アイヌ文化の復興等を促進するための「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営に関する基本方針について、平成26年6月13日に閣議決定がなされ、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会にあわせて国立の民族共生公園(仮称)等を整備していくこととされている。</li> </ul> <p>&lt;達成すべき目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と共生してきたアイヌ文化への理解を深める</li> <li>・国内外から訪れる多様な利用者が快適に過ごせる魅力ある空間を形成する</li> <li>・豊かな自然を活用した憩いの場を提供する</li> </ul> <p>&lt;政策体系上の位置付け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現</li> <li>・良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する</li> </ul>					
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、以下の効果が発現される。</p> <p>○アイヌ文化の理解と交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験交流のための施設を整備することで、伝統的な古式舞踊や工芸、食事等のアイヌ文化を体験することが可能となり、アイヌ文化についての国民各層の理解が促進される。</li> <li>・ポルト等の豊かな自然環境を活かした憩いの場を整備することで、国内外から訪れる多様な利用者が快適に過ごせる空間が形成される。</li> </ul> <p>○アイヌ文化の継承や創造発展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌの伝統的な暮らしを体感できる空間を整備することで、伝統的な儀式・儀礼等のアイヌ文化に関する様々な活動を行うことが可能となる。</li> </ul> <p>○地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ文化に関する行事等の開催や観光振興等により地域活性化に資する。</li> </ul>					
その他	<p>&lt;第三者委員会の意見・反映内容&gt;</p> <p>対応方針(原案)のとおり「事業推進」でよいと判断される。</p>					